

個性輝くまちづくり

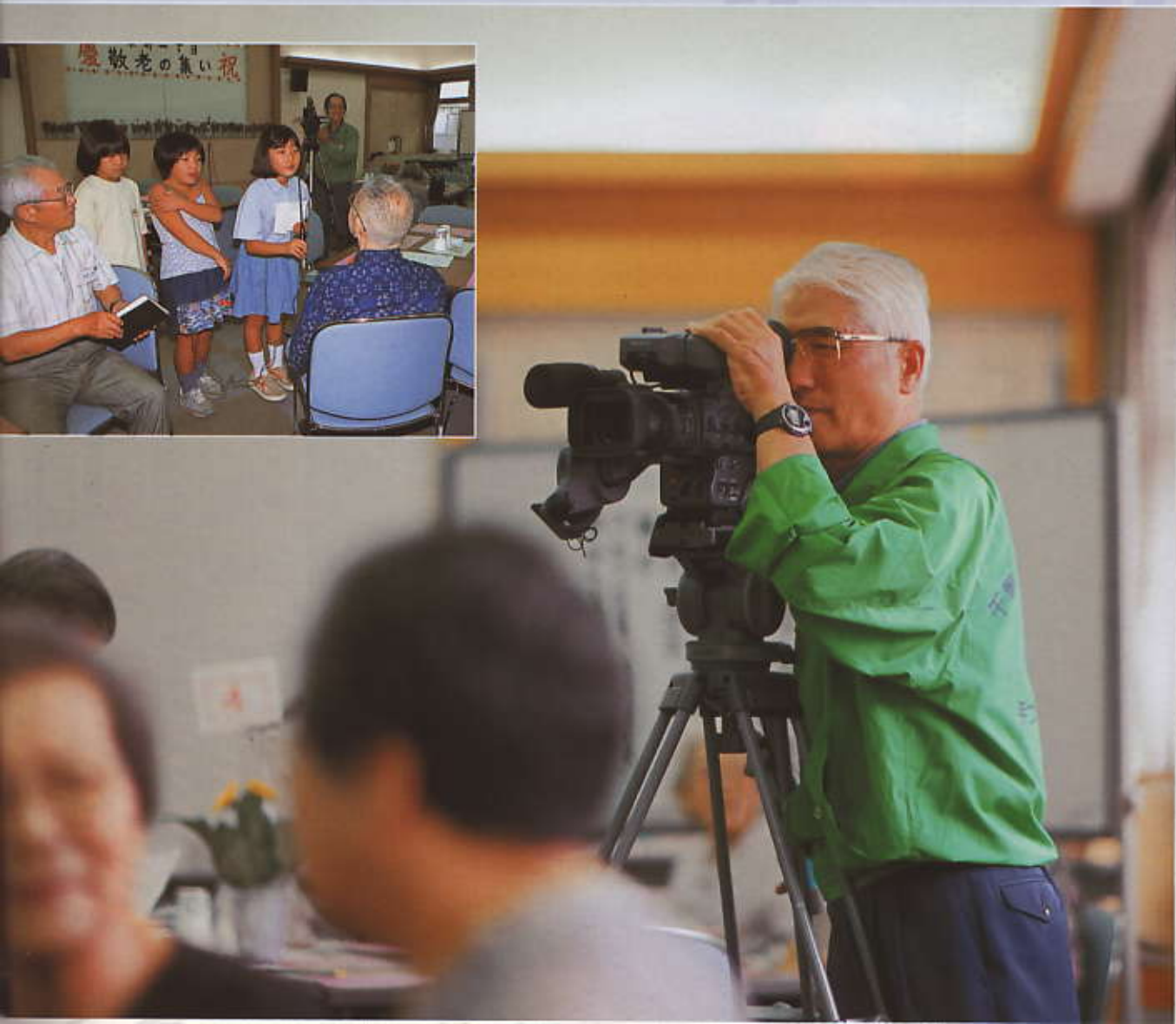
地域に密着した手づくり放送局

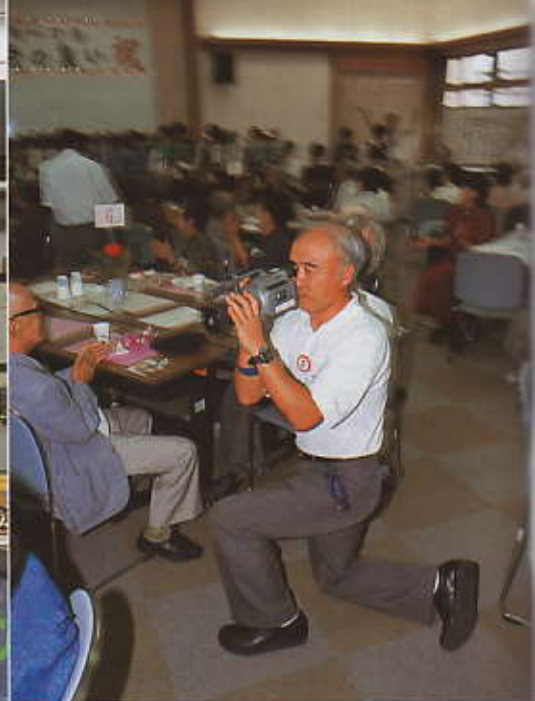
千葉・千葉ガーデンタウン有線テレビ放送局



九月十五日、ここ千葉市美浜区幸町一丁目でも「敬老の集い」が七十歳以上のお年寄りや関係者百五十人ほどが参加して開催された。表彰式、小学生による歌唱、中学生の楽器演奏と会は進んでいくが、お年寄りの表情や舞台の模様を、二台の固定カメラと一台の移動カメラが撮影している。撮影しているのは、一丁目を放送エリアとする「千葉ガーデンタウン有線テレビ放送局（CTS）」の面々。この日は撮影のほか、音響、インタビュアー、さらには会の進行役など十人がこの会場で活躍している。会が終わった後、事務所に戻り編集作業が行われ、来週からこの集いの模様が放映されることになる。

CTSの特徴は、取材、編集、インタビュアー、キャスター、技術・保守といった放送に関わることはもちろんのこと、番組表の作成、配布までのすべてが住民のボランティアで行われていること。メンバーは現在十八人。カメラや映像好きが多い。メンバー以外にも学校での取





材は子どもたちや教師が、さらには町内の行事の撮影や企画にも外部スタッフが参加している。とくに小・中、高校生によるジュニアスタッフもキャスターやインタビュアーを務めている。メンバーの多くは勤め人だから、平日の取材に外部スタッフの協力は欠かせない。

CTSが放送を開始したのは、昭和四十九年。前年に東京湾の埋立地に高層マンションが建設

され、入居がはじまった。このマンションには、当初からテレビ放送用のスタジオ設備が管理組合事務所の中に設置されており、また全戸に共同受信用のケーブルが繋がっていた。「これを活用しよう」との呼びかけに応じて集まった人たちによって放送が開始した。最初は放送技術の取得に関する勉強を重ね、同年の十二月から放送がはじまった。当時の視聴世帯は、ガーデンタウンの約千四百世帯。その後、同じ町内の小学校や中学校にも放映されるようになった。また域内にある県営住宅などにも県の補助を受け、ケーブルを敷設、現在では一丁目全域に広がり、約二千百世帯が受信している。

放送している番組は四つ。一つは、防災訓練、老人会の作品展、ビアパーティなど地域で開催されるイベントや各種団体の行事や企画ものなどを放映する一時間番組「CTSアワー（本放送）」。二つ目は小学校の運動会や文化祭などのイベント、普段の授業風景を紹介する三十分番組の「すはまっ子ニュース」。団地内の運動会や盆踊りの模様をそのまま放映する「ノーカット放送」、さらには域内の各種団体などの行事日程、市のお知らせなど文字情報として流す「伝言板」の四つである。この四つの番組が一日数回放送され、一週間単位で内容を変えていくしくみになっている。

CTSの役割としては、自分の子どもや身近所の人など身近な人たちが、そして身のまわりの話題が映し出されることで、見知らぬ人たち



が集まっている街での住民同士の交流を深めることに寄与したことは勿論だが、それ以上に、住民に対しての問題提起の機能を果たしている。一例をあげれば「ごみ問題。この問題がクローズアップされた時には、「どう考える「ごみ問題」と題したキャンペーン放送を展開し、住民への喚起を促した。その結果、市の分別収集のモデル地区にもなっている。

また、また非行中学生を扱った「つっぱり一五歳の心」などをはじめとするドキュメンタリー番組

も製作し、住民にインパクト与えただけでなく、CATVのコンクールなどでも入賞している。今年で二十七年を迎えたCTS。有線テレビによる活動は最近では、それほどめずらしいことではなくなった。しかし管理、運営の一切を住民が行っているCTSは今後も地域に根付いた活動を続けていくだろう。

■連絡先 千葉市美浜区幸町一七二

千葉ガーデンタウン有線テレビ放送局

TEL043-248-6767